

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名 子宮鏡下子宮筋腫核出術における組織切除回収システムとレゼクトスコープの比較検討

研究の目的

過多月経・月経困難、異常子宮出血、不妊症などを呈する粘膜下筋腫に対し、子宮温存を希望する場合には子宮鏡下子宮筋腫核出術が選択されます。近年、従来のレゼクトスコープによる切除（transcervical resection：以下 TCR）に加え、組織切除回収システム（シェーバー）による手術が可能となり、当院でも 2025 年よりシェーバー（Myosure® REACH/XL）を導入しました。

本研究では、新たな器具を使用した症例を集積し、従来の器具との違い、安全性、手術成績等の比較・検討することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方 2020 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の期間、弘前大学医学部附属病院産科婦人科にて、子宮鏡下子宮筋腫核出術を施行された方

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録に記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) 年齢、既往歴、妊娠分娩歴、合併症
- 2) 受診契機
- 3) 症状
- 4) 診察所見や検査データ
- 5) 手術に関する情報（腫瘍サイズ、腫瘍重量、手術時間、出血量、手術に使用した器具、術中合併症、術後合併症）
- 6) 術後経過（妊娠の有無や妊娠経過も含む）

これらの情報を元に、新たに導入した手術器具における治療成績の評価・検討を行います。

なお、利用に当たっては氏名・住所・電話番号・患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また、本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	地域医療支援学講座・横田 恵 連絡先 TEL：0172-39-5107 / e-mail：megumi-y@hirosaki-u.ac.jp
-------	---